

2020年 Global Compact支持・ 支援活動と4分野「10 原則」への取り組み

フルハシEPO株式会社

FULUHASHI EPO CORPORATION

期間：2020年2月～2021年1月

～ EPOは、地球の生態系、環境を表す「Eco・Environment」
と港を表す「Port」から名づけました ～



2020年 Global Compact支持・支援活動と 4分野「10原則」への取り組み

<トップメッセージ>

フルハシEPOは『環境』を主軸に、Global Compact (GC) の活動「4分野10原則」を持続的に支持・支援し、CSR活動、SDGs活動を積極的に行っております。

CSR活動においては、経営理念「世のため人のため地球のため社員のため持続可能な社会を創造します」に基づくCSR基本方針『社会とともに』『環境とともに』『社員とともに』を掲げ、GCの4つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」を目指しています。

SDGs活動においては、17のゴールの中、当社企業活動に関係の深い6ゴールに重点をおいて推進しています。

またフルハシグループ企業行動憲章のもと、法令・倫理規範を遵守し、お客様・お取引先・社員・地域社会・株主を含む全てのステークホルダー（利害関係者）に対して、安全性と品質を追求するとともに経営の効率化、透明性を常に意識し、付加価値のある経営を行うことで社会的責任を果たします。

4分野10原則の遵守された世界を目指し、経営方針にも掲げる「世のため、人のため、地球のため、社員のため」に、業界のリーディングカンパニーとして木質バイオマス資源の技術・サービス・ソリューションを通じて、未来の子供たちが安心して暮らすことのできる持続可能で良質な環境社会の創造に寄与します。

代表取締役社長 山口 直彦

＜人権原則＞

原則１：企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権擁護を支持し、尊重する。

原則２：人権侵害に加担しない。



《当社の方針》

- ・ SDGs：5ジェンダー平等を実現しよう。10人や国の不平等をなくそう。
16平和と公正をすべての人に。
- ・ 「人権尊重」（フルハシグループ企業行動憲章）
あらゆる企業活動の場面に於いて人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。
- ・ 「行動規範」：基本的人権の尊重、人種、信条、性別、年齢、社会的身分、門地、民族、宗教または障害の有無等の理由による差別や個人の尊厳を傷つける行為の禁止。
- ・ 「お取引先との公正・透明な取引」（CSR活動：『社会とともに』）

《取り組み・活動》

1) 周知

- ①フルハシグループ企業行動憲章、行動規範による周知。
- ②人権に関する意識向上のため、従業員へ行動指針カードの配布携帯の指示。
- ③朝礼などで、行動指針カードの唱和。
- ④CSR活動：基本方針を明記したリーフレットの配布（会社説明会・展示会など）

2) 研修・活動

- ①2020年4月2日 新入社員研修時に講習の実施。
- ②2019年10月コンプライアンス委員会を設置、隔月開催。
- ③中途入社時研修（随時）で、人権を支持、尊重する人事方針を指導。
- ④「公正採用選考・人件啓発推進員」の選任、2020年6月更新、採用面接官への周知徹底。
- ⑤ボランティア活動による休暇を認め、社員のボランティア活動を推進。
- ⑥ 2020年9月、10月、11月、2021年1月 全社員へコンプライアンス研修（eラーニング）実施。
- ⑦内部通報制度の導入。

《成果・評価測定》

- 1) 研修アンケートによる従業員の人権擁護・ハラスメント意識の調査。
- 2) 研修・教育の参加報告書の作成、提出。
- 3) 研修テスト結果報告。

<労働原則>

原則3：組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。

原則4：あらゆる形態の強制労働を排除する。

原則5：児童労働を実効的に廃止する。

原則6：雇用と職業に関する差別を撤廃する。



《当社の方針》

・SDGs：5ジェンダー平等を実現しよう。8働きがいも経済成長も。10人や国の不平等をなくそう。16平和と公正をすべての人に。

人権尊重（フルハシグループ企業行動憲章）

・あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。

・従業員の尊重（フルハシグループ企業行動憲章）

従業員一人ひとりの個性を尊重します。また、能力を十分に発揮でき、生き生きと働ける環境を実現します。

・「社員一人ひとりの多様性を尊重し、働き甲斐をもって自己実現に向かう人材育成」、
「ワーク・ライフ・バランスに配慮し、働き方改革に努める」（CSR活動：基本方針『社員とともに』）

・「公正な採用」「従業員の安全と健康を確保するための人事プログラム」

《取り組み・活動》

1) 周知

- ①従業員の意識向上のため行動指針カードの配布、携帯の指示。
- ②働き方改革：多様な勤務として社内通達によるテレワーク勤務の推進。
- ③社内報や社内ネットワークで育児休業・介護休業制度、短時間労働の周知。
- ④福利厚生制度の充実：結婚出産入学等へのお祝いの充実と社内報を通じて内容の周知。

2) 研修・活動

- ①2019年10月コンプライアンス委員会を設置、隔月開催。
- ②働き方改革「女性能力活用プロジェクト」女性活躍推進WG（商工会議所）へ参加。
- ③オアシス運動（より良い職場環境づくり活動）の促進、2020年4月社内表彰制度による表彰。
- ③雇用平等、労働の多様性、積極的な障害者雇用への促進、2020年2月社外研修参加。
→2015年2月から2021年1月障害者法定雇用率の達成を継続中。
- ④「公正採用選考・人件啓発推進員」の選任、2020年6月更新、採用面接官への周知徹底。
- ⑤中途入社時研修（随時）で、平等な雇用を指導。
- ⑥SDGs研修受講推進：2020年8月関係会社の研修への参加推進。
- ⑦2020年9月、10月、11月、2021年1月 全社員へコンプライアンス研修（eラーニング）実施。
- ⑧内部通報制度の導入

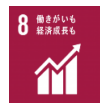
＜労働原則＞

原則 3：組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。

原則 4：あらゆる形態の強制労働を排除する。

原則 5：児童労働を実効的に廃止する。

原則 6：雇用と職業に関する差別を撤廃する。



《成果・評価測定》

1) オアシス運動(働きやすい明るい職場活動)に対する評価(社内表彰制度)。

2) 働き方改革、雇用の多様性についてのアンケート実施・報告。

(育児・介護休業、育児時短勤務、障害者・高齢者雇用など)

3) SDGs研修報告。

4) 研修テスト結果報告。

<環境原則>

原則 7：環境問題の予防的なアプローチを支持する。

原則 8：環境に関して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。

原則 9：環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。

《当社の環境方針》

（HPへ掲載 <http://www.fuluhashi.co.jp/environment.html>）



『環境理念』 トップ提言

「私たちは地球環境と未来の子供たちのために、再生可能な資源・エネルギーのポテンシャルを引き出し、最大限に活用することによって持続可能な社会の実現を目指します。」

代表取締役 山口直彦

- ・ SDGs：7エネルギーをみんなにそしてクリーンに。9産業と技術革新の基盤をつくろう。12つくる責任つかう責任。13気候変動に具体的な対策を。15陸の豊かさを守ろう。

『環境方針』

フルハシEPOは事業の遂行にあたり、よりクリーンな経営・生産活動を目指す取り組みの基本方針として以下を定めます。社員への周知徹底に努め、公開できるようにしています。

1. 事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済に可能な範囲で環境目的・目標を定め、見直しを行い、環境マネジメントシステム及びパフォーマンスの継続的向上を図ります。
 - ・木質バイオマスの重要性を認識し、積極的な活用を推進します。
 - ・全ての部門で、ムリ・ムダ・ムラを削減、省資源・低エネルギーを推進し、業務の合理化を図ります。
 - ・従業員が健康に働ける職場環境を整えるとともに、環境教育の機会を提供し、一人ひとりが環境への意識を向上し、環境保全活動を進めていきます。
 - ・環境情報の開示や発信を通して、ステークホルダーとの信頼関係を築きます。
 - ・食の安全保障、再生可能エネルギーの創出、生物多様性の保全、資源の活用、地産地消に努め、持続可能な社会づくりのために必要な活動を展開します。
 2. 法規制の順守はもとより、自らの責任において高い目標を設定し、その実現に努めていきます。
 3. 環境への汚染をゼロに近づけるため、いっそうの環境保全に取り組みます。
- この方針を達成するために、「環境安全衛生委員会」を組織し、全員参加で環境活動を推進します。

『地球環境保全への貢献』（フルハシグループ企業行動憲章）

地球環境への負荷を低減し、持続可能な社会づくりに貢献します。



＜環境原則＞

《取り組み・活動》

1) 周知

- ①従業員の環境意識向上のため行動指針カードの配布、携帯の指示。
- ②環境安全衛生委員会による環境経営管理システムの構築。

2) 研修・活動

- ①エコアクション21取得。工場を含め対象の全19拠点で取得。（2020年10月追加）
- ②あいちCO2排出量削減マニフェスト2020へ登録（2012年12月）し、目標達成むけ活動、2015年12月18日 トリプルスター取得・活動継続中。
- ③緑化推進「花いっぱい活動」を各工場で実施。
- ④環境活動貢献者への社内表彰制度。
- ⑤ボランティア活動による休暇を認め、社員のボランティア活動を推進。
- ⑥SDGs研修受講推進: 2020年8月関係会社研修への参加。

3) 環境にやさしい技術の開発と普及を促進する事業活動

- ①再生可能エネルギーの活用～木質バイオマス発電事業への参画。
※2008年川崎バイオマス発電（株）設立。2011年2月稼働。
※2017年CEPO半田バイオマス発電（株）設立。2019年10月稼働。
隣接した木質チップ供給工場（愛知第七工場）を2019年3月開設・運営。
- ②建物の建築・解体現場から出る廃棄物の分別・回収（エアコンのフロン回収も実施）
- ③間伐材の循環的有效活用
 - ・間伐作業による資源の有効活用と森林整備の促進、木質バイオマス製造工場の設立による地域雇用の活性化事業の促進。
 - ・間伐材を利用したパレットの販売（プラスチックパレットよりCO2排出量を97%削減）
 - ・補修による長期使用（King of REUSE）、使用済みのパレットを回収し、木質バイオマス燃料へリサイクル活用。
- ④海域でバイオマス(海藻)を資源エネルギーとして製造およびその有効活用(食品・工業原料・医薬・バイオエタノール化等)を研究、地域活性化を図る。
- ⑤有機栽培、水耕栽培の活用促進方法の研究。
- ⑥「always ecology forever healthy」の理念のもと、地球環境と健康にこだわり、無化学肥料・無農薬栽培にこだわった野菜栽培の研究・促進。
- ⑦2020年4月CO2フリー価値つき電力の導入(愛知第七工場)によるCO2削減活動。



<環境原則>

《成果・評価測定》

- 1) 「あいちCO2排出量削減マニフェスト」活動進捗等、外部(官公庁等)へ活動実績報告。活動実績が評価され、2015年12月18日トリプルスターを取得。
- 2) 2020年10月対象全19拠点で「エコアクション21」を取得。
(2020年10月追加取得拠点：愛知第七工場、岐阜第一工場、湘南工場)
- 3) CSRレポート「FULUHASHI EPO REPORT」の制作発行による環境保全活動のステークホルダー等への報告。
HPへ掲載 <http://www.fuluhashi.co.jp/environment.html#envi03>
- 4) 毎月環境安全衛生委員会での実績報告。
- 5) 海域でバイオマス(海藻)を資源エネルギー有効活用研究の実績報告。
提出先：富山県入善町。
- 6) 2018年6月肥料として有機肥料活用促進のための「育苗システム、浮き材」特許取得。
- 7) 2020年8月水耕栽培等における植物栽培用養液の製造方法及び植物栽培方法に関する特許取得。
- 8) 百五銀行環境格付評価「先進的」。十六銀行環境格付認定「S(先進的)」。
- 9) 省エネ法対象事業所におけるエネルギー使用量の確認・報告の実施。

育苗システム特許証(6347878号)

植物栽培用養液の製造方法及び植物栽培方法特許証(6747731号)



＜腐敗防止原則＞

原則 10：強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。

《当社の方針》

- ・「校正な企業活動」（フルハシグループ企業行動憲章）
公正、透明、自由な競争を行います。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
- ・「腐敗防止原則の遵守：お取引先との公正・透明な取引」
（CSR活動：基本方針『社会とともに』）
- ・SDGs：5ジェンダー平等を実現しよう。10人や国の不平等をなくそう。16平和と公正をすべての人に。17パートナーシップで目標を達成しよう。



《取り組み・活動》

1) 周知

- ①入社時、CSR活動：基本方針を明記したリーフレットの配布。
- ②SDGsへの取り組みポスターの掲示。
- ③通達による贈答品への腐敗防止の周知徹底。

2) 活動・研修

- ①2019年10月コンプライアンス委員会を設置、隔月開催。
- ②腐敗、強要行為にたいする社内監査の実施。
- ③中途入社時研修(随時)で、就業規則遵守、腐敗防止を指導。
- ④SDGs研修受講推進：2020年8月関係会社の研修への参加推進。
- ⑤社内報で正しい経費処理について定期的に学習、社員へ周知徹底。
- ⑥2020年9月、10月、11月、2021年1月 全社員へコンプライアンス研修(e-ラーニング)実施。
- ⑦内部通報制度の導入。

《成果・評価測定》

- 1) 社内監査による調査報告。
- 2) 経費調査・会計監査による報告。
- 3) 研修報告書の作成。

研修：コンプライアンス研修(e-ラーニング)

正しい経理処理(社内報)

間違えやすい
経費の科目について

修理費・工場用消耗費・固定資産
●工場用消耗費：製品を生産する際に直接必要な機材・道具などの費用。なお、工場内で使用しても直接生産に関与しない清掃道具などは消耗品費で計上する。
●修理費：摩耗部品の交換など機械等の維持や修理のための費用。
●固定資産：販売目的ではなく企業が長期にわたって保有し、使用する資産。
例：建物、建物付属設備、機械装置、車両運搬具、工具器具備品

●固定資産と修理費の判定基準
固定資産の修理や改良に要した費用は、次の判定基準により固定資産と修理費等に分類される。判定の流れは以下のようになる。

2-2 不正行為：贈収賄(ぞうしゅうわい)

- ・贈収賄とは、「賄賂を贈ることと受け取ること」。賄賂罪は「公務員が、その職務に関し、賄賂を收受し、又はその要求若しくは約束をしたとき」に成立する。
- ・賄賂には、金品のほか接待、旅行などへの招待、寄付等々も含む。

- ・企業が公務員（いわゆるみなし公務員も含む）に対して賄賂を贈ると、渡した側は**贈賄罪**、受け取った側は収賄罪で罰せられる。
- ・公務員に対して実際に賄賂を贈る行為だけでなく、**不正行為が実際に行われていなくとも、その申し込みや約束をした場合にも処罰の対象となる。**
- ・贈賄罪の刑罰は「3年以下の懲役または250万円以下の罰金」



贈賄罪は民間人でも処罰の対象です！



参考資料 1：フルハシグループ企業行動憲章

フルハシグループは、健全な事業活動をととして収益性を高め、活力ある発展と社会への還元を図ります。

そのためには、関係法令の遵守はもちろんのこと、良き企業市民として社会的責任を果たし、お客さま、株主・投資家の皆さま、取引先、地域社会、従業員をはじめとした関係者からの信頼を得て、企業価値を高めることが必要だと認識しています。

一、お客さまの満足

有用で信頼性の高い商品やサービスを、安全に十分配慮して開発、提供し、お客さまの満足と信頼を獲得します。

一、新しい技術への挑戦

創造的な技術開発に挑戦し、新事業領域の開拓を行い、豊かな未来に貢献

一、公正な企業活動

公正、透明、自由な競争を行います。また、政治、行政、との健全かつ正常な関係を保ちます。

一、情報発信

正確で十分な企業情報をわかりやすく適時かつ適正に発信し、企業活動の透明性を高めます。

一、地球環境保全への貢献

地球間への負荷を低減し、持続可能な社会づくりに貢献します。

一、地域社会との調和

国や地域の文化・慣習を尊重し、その発展に貢献する経営を行います。

一、社会貢献活動

社会の一員であることを深く自覚し、良き企業市民として積極的に社会貢献活動を行います。

一、人権尊重

あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。

一、従業員の尊重

従業員一人ひとりの個性を尊重します。また、能力を十分に発揮でき、生き生きと働ける環境を実現します。

一、知的資産・個人情報の管理

知的資産や個人情報の価値を認識し、適正な管理を実行します。



参考資料 2：行動指針「フルハシスピリッツ」

グローバルコンパクトの4つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」、およびCSR活動への従業員意識向上のため、「行動指針カード」を配布・携帯を指示しています。

『行動指針』

- ・世の中にとって必要か？
 - ・正しいか？
 - ・環境にやさしいか？
1. 新しい可能性にチャレンジし、持続可能な社会を実現します。
 2. お客様の立場に立って考え、ニーズに応えます。
 3. プラス発想と行動力で付加価値を高めます。
 4. 知性・技術・感性を育て、使命感を持って仕事に取り組みます。
 5. 豊かなところでユーモアを忘れずに仕事を乐しみます。

《7way Spirits》

| | |
|----------|--------------|
| Fair | 公明正大の心持って |
| Free | 自由な発想で |
| Flexible | 柔軟に |
| Future | 未来を創造し |
| Fresh | 新たな商品を |
| Fast | 速やかに |
| Friendly | 真心込めて顧客に提供する |



2010.01

Fuluhashi Spirits
【行動指針】

私たちは、地球環境の視点から真に必要なものを、お客様の企業価値向上に役立つ製品・サービスとして創り出し、子供たちが安心して暮らすことのできる低エネルギーで持続可能な社会の実現を目指します。

フルハシスピリッツは当社の経営理念に基づいた行動指針です。自ら未来を創造するリーダーシップを持ち、チャレンジ精神と感謝の気持ちを大切に、お客様とともに喜びあえる会社づくりを目指して、ともに頑張りましょう。

代表取締役社長 山口 直彦



参考資料 3 : C S R活動

グローバルコンパクトの4つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」を目指したCSR活動のため、3つの基本方針

『社会とともに』『環境とともに』『社員とともに』を掲げています。法令・倫理規範を遵守し、安全性と品質を追求するとともに経営の効率化、透明性を常に意識し、お客様・お取引先・社員・地域社会・株主を含む全てのステークホルダー（利害関係者）に対してメリットある経営を行うことで社会的責任を果たします。

『社会とともに』・・・お客様、お取引様、地域の方々など社会の様々な方とコミュニケーションを取り、お客様の立場に立って、誠実に製品やサービスをお届けします。お取引先との相互発展・成長のため、ビジネスパートナーとして公正・透明な取引を行います。また、地域社会の一員として積極的に社会貢献活動を展開します。

『環境とともに』・・・地球環境の保全と再生を取り組むべき重要な経営課題と捉え、事業における環境負荷提言活動に主体的に取り組み、資源の有効活用によりサステナブルな社会づくりにベストを尽くします。

『社員とともに』・・・社員一人ひとりの多様性を尊重し、働きがいをもって自己実現に向かう人材育成を目指します。ワークバランスに配慮し、働きやすい職場環境づくりを進めます。





参考資料 4 : S D G s への取り組み

フルハシEPOのSDGs取組み

理 解

フルハシEPOのSDGs取組み

SDGsに関する理解向上を目的に、社員を対象としたSDGsの研修を実施しています。

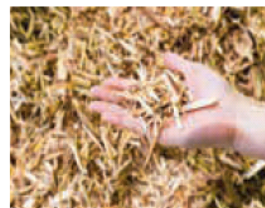
SDGsの趣旨や企業が取組む意義、フルハシEPOの企業活動との関連について講義やワークショップで学びます。



取組み

主力業務を通じた貢献

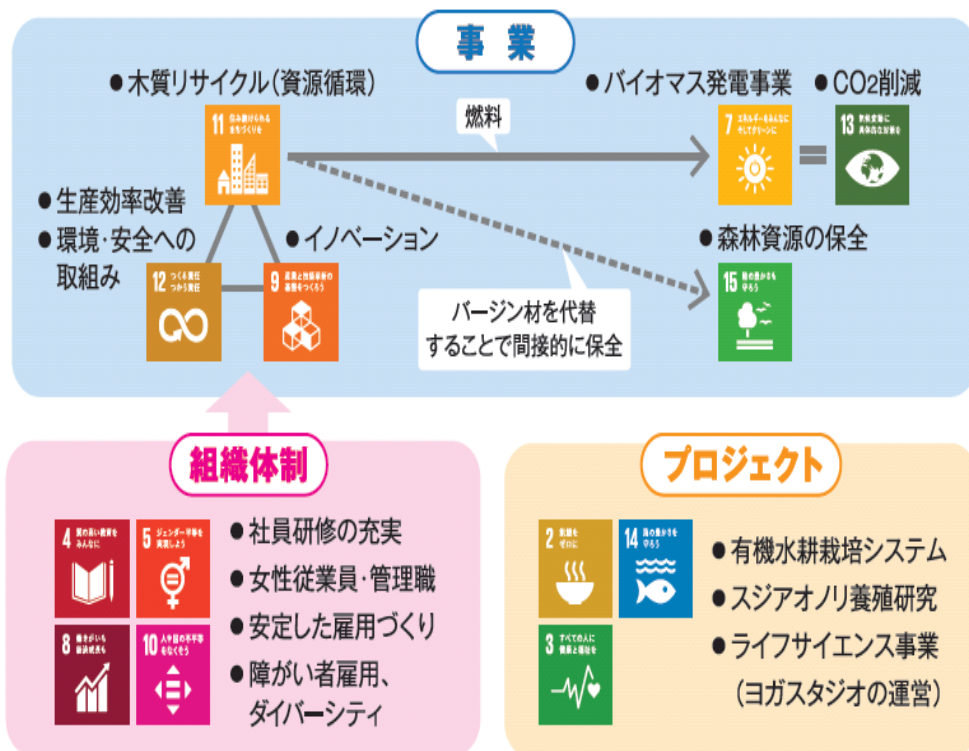
フルハシEPOは、主力業務として木質リサイクルチップの製造を行っています。建設副産物を廃棄物ではなく、資源として有効活用しています。製造された木質リサイクルチップの一部は、バイオマス発電燃料としてクリーンエネルギーを生み出しています。



報 告

コミュニケーションと報告

フルハシEPOではE(環境)、S(社会性)、G(企業統治)などの非財務情報を「フルハシEPOレポート」において開示しています。



参考資料 4 : S D G s への取り組み

フルハシEPOの4つのテーマ

当社の企業活動は、SDGsの17の目標に広くかかわりますが、特に関係の深い6つの目標に重点を置いて推進していきます。

テーマ

1

木質バイオマスを中心に、クリーンエネルギー事業を推進、地球温暖化防止に貢献します。



テーマ

2

新たな可能性にチャレンジし、積極的に技術開発に取り組めます。



テーマ

3

都市における木質資源リサイクル(資源循環)を強力に進め、廃棄物の削減と持続可能な街づくりに貢献します。



テーマ

4

木質資源のリサイクルにより、国内外の過剰な森林資源の消費を抑制します。



参考資料 5 : 「働き方改革」活動

① 「あいち女性の活躍促進宣言」 ～女性が元気に働き続けられる愛知～

<http://www.pref.aichi.jp/0000076193.html>

女性の活躍促進宣言

2015 年 1 月 28 日

会社又は団体名 フルハシ EPO 株式会社

代表者氏名 代表取締役 山口 直彦

「あいち女性の活躍促進行動宣言」の趣旨を踏まえ、女性の活躍促進に向けて取り組んでまいります。

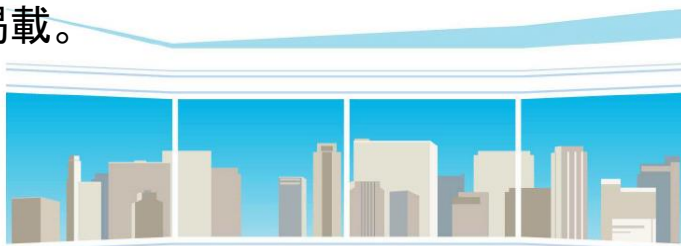
女性の活躍促進に向けた組織トップからのメッセージや今後の取組内容など、それぞれの企業・団体の実情に応じてご自由にご記載下さい。

弊社は社員のワーク・ライフ・バランスを推進し、今後より一層女性が活躍できるよう企業風土の改善と意欲向上に努めます。

- ・女性の活躍支援について、社内の意識改革に努めます。
- ・働き方のダイバーシティに対応できるよう体制を整備します。
- ・女性能力活用のため、女性社員の意識向上と管理職の養成を図ります。

②男性社員の育児休業取得促進。

- 1) 社内ネットワークへの掲載。
- 2) 朝礼等での紹介。
- 3) 福利厚生のお祝い制度。



従業員向け研修資料
～男性の育児休業取得促進のために～

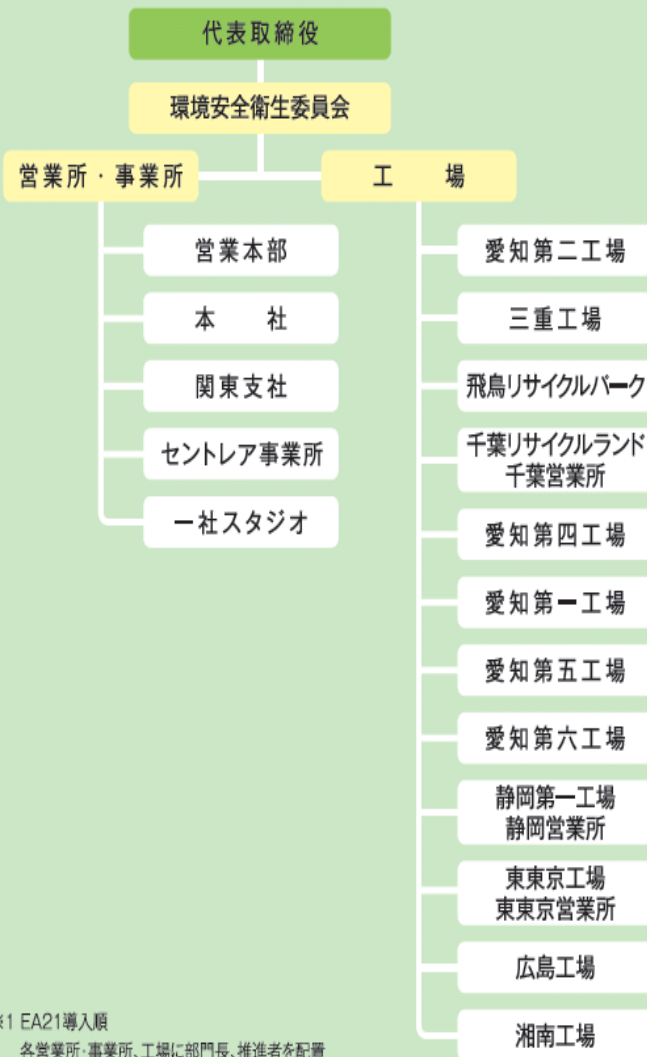
参考資料6：環境マネジメント 環境安全委員会組織体制：2020年4月

● 環境マネジメント

エコアクション21(EA21)は、環境省が策定した環境マネジメントシステム(EMS)です。環境活動を継続的に改善する手法(PDCA)に基づき、組織や事業者などが環境への取組みを自主的に行うための方法を定めています。フルハシEPOは、環境マネジメントを継続的に推進するためにEA21を導入し、組織、役割および責任を定めています。

2019年5月現在、5営業所・事業所、12工場の合計17拠点で運用を行っています。

組織体制表※1



※1 EA21導入順
各営業所・事業所、工場に部門長、推進者を配置

環境安全衛生委員会 (WEB会議で実施)



参考資料 7 : エコアクション 21 認証取得

エコアクション 21 は ISO14001 の体制や手引きの規定に加え、環境パフォーマンス評価、環境報告書の規定を統合した、PDCA を基本とした効率的で実行性のあるマネジメントシステムです。

【認証取得】

| | |
|----------|--------------------|
| 2012年12月 | 営業本部 |
| 2012年12月 | 愛知第二工場（弥富） |
| 2012年12月 | 広島工場（旧グリーンランド） |
| 2013年12月 | 三重工場 |
| 2013年12月 | 飛島リサイクルパーク |
| 2015年12月 | 本社 |
| 2015年12月 | 愛知第四工場（武豊） |
| 2015年12月 | 千葉営業所・千葉リサイクルランド |
| 2016年10月 | 横浜営業所（旧関東支社） |
| 2016年10月 | 愛知第一工場（春日井） |
| 2016年10月 | 愛知第五工場（清須） |
| 2016年10月 | 愛知第六工場（豊田元町） |
| 2016年10月 | セントレア事業所 |
| 2016年10月 | 静岡営業所・静岡第一工場（掛川） |
| 2016年10月 | jonetsuYoga 一社スタジオ |
| 2017年11月 | 東東京営業所・東東京工場（松戸） |
| 2020年10月 | 愛知第七工場（半田） |
| 2020年10月 | 岐阜第一工場（多治見） |
| 2020年10月 | 湘南工場 |



エコアクション21

認証登録番号 0008997

持続可能な社会を構築するためには、あらゆる主体が積極的に環境へ取り組みを実施することが必要である現在、これまで以上に一人ひとりが業務の中で、省エネルギーや資源リサイクル等、環境活動を主体的に意識し、行動していくことが必要と考えています。

<参考：取得メリット>

- ①環境経営の証
- ②コスト削減（要求事項遵守による業務改善）
- ③経営の効率化（PDCAに基づく環境経営）
- ④産業廃棄物処理業者として優良事業者の要件
- ⑤グリーン入札・入札参加資格
- ⑥条例による「事前協議」の免除

参考資料 9 : あいちCO₂排出量削減マニフェスト2020

愛知県では「あいち地球温暖化防止戦略2020」を策定したことに伴い、県内の事業者が2020年に向け、自主性や創意工夫を活かしたマニフェスト（宣言）の作成を推進しています。県はそれを認証・登録し公表することにより、参加者事業者の環境活動を広く社会にPRできるよう、他事業者や他の地域への展開を期待する「あいちCO₂排出量削減マニフェスト2020」制度に取り組んでいます。

事業所活動

- 環境安全（防災）委員会を設置し、着実な環境経営を推進
- 各種設備・機器の管理標準を厳守し、「ムリ・ムダ・ムラの削減」「省資源・低エネルギー化」を推進し、業務の合理化を実施
- 空調機器の設定温度を適切に管理実施
- スーパー・クールビズ及びウォームビズ実施
- 給湯機器について、適切な起動時間・停止時間および温度設定を実施
- 照明の点灯区画の限定等による不要な点灯を削減実施
- 破碎機ハンマーの新開発による効率化を実施
- OA機器の効率化の実施
- 木質バイオマス発電設備〔中型〕の導入
- 全工場にデマンド・コントローラー導入、電力管理の実施
- エコドライブ運動による燃費向上を実施

低炭素な製品・サービス

- グリーン購入（環境配慮型製品・サービス）の実施
- グリーン・ジャパン・プロジェクト：〔植林からエネルギー〕
木質バイオマス発電所〔大型〕による再生可能エネルギー創出
- グリーン・ジャパン・プロジェクト：〔植林からエネルギー〕
森林再生事業による間伐推進、未利用間伐材の地産地消の実施
- ブルー・オーシャン・プロジェクト：〔海洋バイオマスの創出〕
海洋バイオマスの資源化技術開発を実施
- オレンジ・サン・プロジェクト：〔食の安全保障〕
生物多様性に配慮した有機農業を実施
- 木質バイオマスのマテリアル・リサイクル選別を徹底

従業員教育、社会貢献

- 「環境・安全・防災」月間活動を設置し、全従業員で取り組む
- 木質バイオマスの重要性を広く普及させるため、木育活動を実施
- 産官学連携により、「都市の木質化（木製品の普及）」を推進



トリプルスター取得

＜活動・成果報告＞

当社マニフェストの内容は当社ならびに愛知県のホームページに掲載、目標達成のための活動を環境安全委員会を中心に実施、活動結果を愛知県へ報告しております。2015年12月18日トリプルスターを取得。

参考資料10-1 : FULUHASHI EPO REPORT 2020



環境で未来をクリエイティブする
FULUHASHI
EPO
RLPOR 2020



● 事業活動にともなう 環境負荷の全体像

当社は、事業活動にともなう原材料、資源やエネルギーなどの利用量および環境負荷量を、INPUT→OUTPUT(インプット・アウトプット)データとして把握し、さらなる環境負荷低減、リサイクル率の向上に向けて様々な取組みを進めています。

よりグリーンな経営、生産活動を目指すことを環境方針に掲げ、各拠点において「上水道水の使用量削減」や「ムリ・ムダ・ムラの削減」「省資源・低エネルギー化」を推進しています。



| INPUT | フルハシ EPO | OUTPUT |
|---|---|---|
| 原材料 廃棄物等(原材料)※2 404,569t | | リサイクル製品 バイオマテリアル (木質リサイクル)事業 379,774t |
| 水 上水道水 48,456m³ | 廃棄物処理・リサイクル バイオマテリアル (木質リサイクル)事業 リサイクル率 100% | 再資源化 資源循環 (建設副産物リサイクル)事業 20,143t |
| エネルギー 購入電力……………4,530kWh 都市ガス……………464m³ L P G……………389m³ 軽油……………681kL 灯油……………403L B D F……………33kL G T L……………135kL ガソリン……………75kL | 資源循環 (建設副産物リサイクル)事業 リサイクル率 81.2% | 焼却 723t 最終処分量(埋立) 3,929t 大気への排出 CO₂排出量……………4,218t-CO₂ |

※2 廃棄物等を入荷し、チップを1選別などリサイクルして出荷した量をINPUTとみなしています。

参考資料10-2 : FULUHASHI EPO REPORT 2020

川崎バイオマス発電所 <http://www.kawasaki-biomass.jp/>

木質チップ供給工場



CEPO半田バイオマス発電所 <http://cepohanda.com/>

木質チップ供給工場 愛知第七工場



CO2フリー電力の導入 愛知第七工場（半田）

2020年4月19日より愛知第七工場(半田)において、発電時にCO₂を排出しない再生可能エネルギー電源(電力会社が保有する水力発電などの再生可能エネルギー電源)に由来するCO₂フリー価値つき電力を使用しています。この電力の導入により、年間約118トンのCO₂排出量が削減される見込みです。今後も再生可能エネルギー活用への取組みを積極的に推進していきます。